

第88話 明治の総会会場と会員数——東京と地方

薬学雑誌 1903年度 p 413-430

明治14年帝大薬学科の30人で始まった薬学会も、地方会員が増え続け、明治23年7月には大阪支会が発足した。明治24年末には総員402名のうち、在京170、地方232名と逆転し、翌25年1月の第12回総会決議で東京薬学会から日本薬学会と改称する。以後、会員の爆発的な伸びは主に地方会員の増加によるものであった。

そして明治36年4月、大阪で第23回総会が開かれた。開催日が1月から4月が変わって最初の総会であったが、初めて東京以外で開かれた会でもあった。ちょうど内国勧業博覧会が大阪で開かれ、薬学会会員の中にも来阪するものが多かろうというので大阪開催となったらしいが、増加する地方会員への気配りもあったことが長井会頭の総会演説からうかがえる。府立医学校講堂で4月3、4日に学術演説会、5日総会、懇親会、6、7日に各所参観、全5日間という盛大なものであった。

しかし地方開催はやはり困難なようで、明治が終わる1912年まで、第30回の熊本以外はすべて東京で開かれた。たいてい第11回以来の会場、すなわち帝大薬学教室で総会、

上野精養軒で懇親会を行った。ただし、大阪以前の総会には学術講演会がなく(講演会は月例会で開かれていた)、午後から会務報告などのみであったのが、大阪大会の次の第24回以来、会期は2日間となり、初日午後と2日目午前に学術講演会、そのあと総会、夕方懇親会というパターンが定着した。地方会員は月例会に出られないのだから、総会の際に最先端の薬学の話がたっぷり聞けるのはありがたい(実は2日間の会合は大阪の前年の臨時大会が始まりである。この時は総会こそなかったが、初日に学術講演8題、2日目に模範薬局、東京衛生試験所、赤十字社病院、東京市水道部、日本麦酒株式会社の見学会、そして懇親会があった。地方会員のためのプログラムであろう)。

さて現在、薬学会は毎年各地で開かれる。今年は横浜だが、昨年まで京都、岡山、静岡、札幌ときて来年は熊本、次は神戸。各地で市民講座を開いて全国で薬学関係者が活躍できればよい。

小林 力

明治時代の薬学会総会と会員数(日本薬学会沿革史1910年版と薬学雑誌から)*1

西暦	明治	総会会場	出席者数	懇親会	総数	在京	地方
1880	13年1月	新年会、神田明神境内開花楼	?	開花楼	30		
1881	14年1月15日	新年会、神田明神境内開花楼	30	開花楼	30		
1882	15年	?	?	?	30	14	16
1883	16年1月12日	新年会、不忍弁天社長蛇亭	?	長蛇亭	33		
1884	17年1月12日	大会、神田三河町三河亭	18	三河亭	38		
1885	18年1月17日	大会、神田三河町三河亭	17	三河亭	40		
1886	19年1月16日	総会、大日本私立衛生会事務所	20	三河亭	85		
1887	20年1月22日	総会、神田区淡路町万代軒	27	万代軒	121		
1888	21年1月14日	総会、神田区淡路町万代軒	31	万代軒	165		
1889	22年1月26日	総会、神田区淡路町万代軒	30	万代軒	214		
1890	23年1月18日	第10回総会、麹町区富士見軒	78	富士見軒	240		
1891	24年1月24日	第11回総会、帝大薬学教室	37	?	294		
1892	25年1月17日	第12回総会、帝大薬学教室	40	上野精養軒	402	170	232
1893	26年1月21日	第13回総会、帝大薬学教室	50	?	483	?	?
1894	27年1月20日	第14回総会、帝大薬学教室	55	上野精養軒	583	190	393
1895	28年1月19日	第15回総会、帝大薬学教室	50	上野精養軒	658	199	459
1896	29年1月18日	第16回総会、帝大薬学教室	75	富士見軒	758	217	534
1897	30年2月13日	第17回総会、医科大学薬学教室	?	?*2	861	245	603
1898	31年1月15日	第18回総会、医科大学薬学教室	103	上野精養軒	1,066	311	748
1899	32年1月21日	第19回総会、医科大学薬学教室	58	なし*3	1,190	325	856
1900	33年1月13日	第20回総会、医科大学薬学教室	126	上野精養軒	1,388	340	1,038
1901	34年1月19日	第21回総会、九段坂上、偕行社	89	偕行社	1,770	391	1,374
1902	35年1月18日	第22回総会、医科大学薬学教室	108	上野精養軒	2,059	420	1,639
1902	35年4月4、5日	臨時大会、医科大学薬学教室	156	小石川植物園			
1903	36年4月3~7日	第23回総会、大阪府立医学校講堂	217	中之島大阪ホテル	2,236	419	1,746
1904	37年4月9、10日	第24回総会、医科大学薬学教室	88	上野精養軒	2,316	517	1,791
1905	38年4月8、9日	第25回総会、医科大学薬学教室	152	上野精養軒	2,421	561	1,852
1906	39年4月7、8日	第26回総会、赤坂区溜池町三会堂	162	芝公園三縁亭	2,524	612	1,912
1907	40年4月6、7日	第27回総会、赤坂区溜池町三会堂	149	芝公園三縁亭	2,564	609	1,874
1908	41年4月11、12日	第28回総会、医科大学薬学教室	220	上野精養軒	2,631	639	1,958
1909	42年4月10、11日	第29回総会、医科大学薬学教室	197	日本橋俱樂部	2,724	671	2,028
1910	43年4月4~6日	第30回総会、熊本市九州薬専	108	熊本偕行社	2,783	660	2,075
1911	44年4月8、9日	第31回総会、医科大学薬学教室	117	上野精養軒	2,864	646	2,177
1912	45年4月6、7日	第32回総会、医科大学薬学教室	176	上野精養軒	2,911	648	2,223

*1 会員数は総会前月末の数字。沿革史、薬学雑誌には、明治21年以降の会員数しか記されていない。明治19年以前は、13年の30人を基準に毎月の入会者を数えて計算した。すると18年の総会前月で40人となる。明治20年については、44人増加とあるので、21年165人をもとに121人に確定した。その間の明治19年については、明治18年が52人、翌19年が36人増加しているので、明治18年40人から足し算すると92人、明治20年121人から引き算すると85人となる。また、明治24年までは会員の在京、地方の区別について記載がない。

*2 英照皇太后崩御につき、なし?

*3 凶事につき、なし(総会も14日の予定だった)